

環境経営レポート

2023年度

(対象期間: 2023年3月～2024年2月)

発行日: 2024年3月20日

株式会社 赤尾組

目 次

1. 組織の概要
2. 認証・登録の対象組織・活動
3. 実施体制
4. 環境経営方針
5. 環境経営目標
6. 環境経営計画
7. 環境経営目標実績及び活動計画の取組結果と評価
8. 次年度の取組内容
9. 環境関連法規等の順守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無
10. 代表者による全体評価と見直し結果

1. 組織の概要

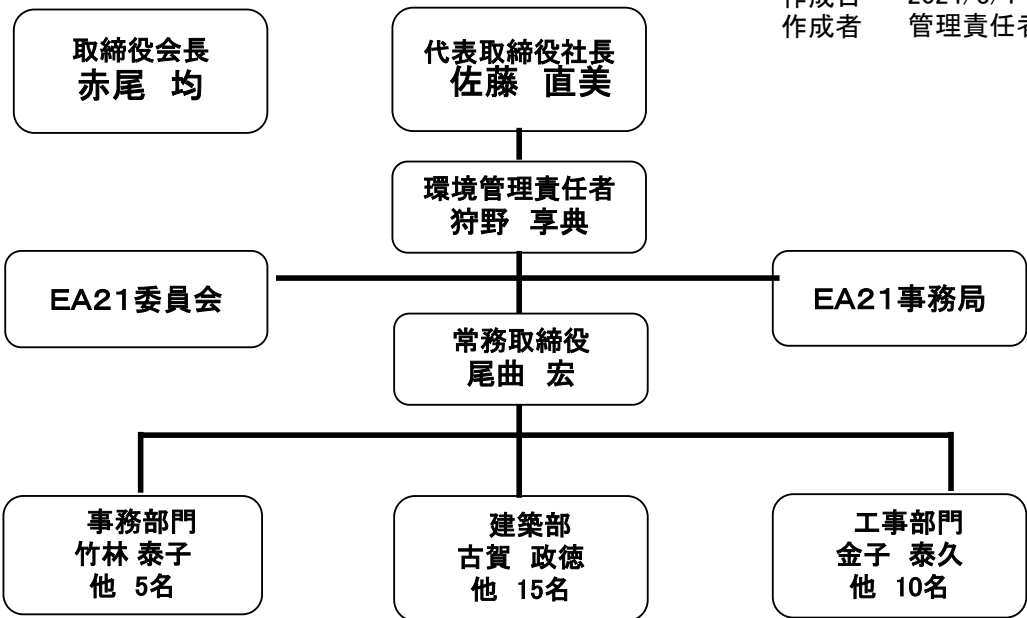
(1)事業所名 代表者氏名	株式会社 赤尾組 代表取締役社長 佐藤 直美
(2)所在地	本社 〒820-0005 福岡県飯塚市新飯塚19-26 機材・加工センター 〒820-0046 福岡県飯塚市大日寺1319-5
(3)環境管理責任者氏名 及び連絡先	管理本部長 狩野 享典 TEL: 0948-23-4824 FAX: 0948-24-1383 E-mail: karino@akao.biz
(4)事業の内容	・建築工事業（福岡県知事許可（特-22）第65797号） ・大工工事業（福岡県知事許可（特-22）第65797号）
(5)事業の規模	・売上高 : 240,000 万円（2022年度） ・従業員数 : 37名 ・事業所延床面積 : 652 m ² （本社 93 m ² +機材・加工センター 559 m ² ）
(6)事業年度	3月～翌年2月

2. エコアクション21認証・登録の対象組織・活動

対象組織	株式会社 赤尾組
対象サイト	〒820-0005 福岡県飯塚市新飯塚19-26 （本社） 〒820-0046 福岡県飯塚市大日寺1319-5 （機材・加工センター）
対象活動	建築工事業 大工工事業

3. 実施体制

作成日 2024/3/1
作成者 管理責任者



<役割分担表>

所 属	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムに必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者、EA21事務局員を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実行、維持 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境関連法規等の取りまとめ ・環境経営方針の周知 ・環境経営目標・環境経営計画書の作成 ・環境関連法規等の遵守評価の実施 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・代表者による全体の評価と見直し会議の議事録作成 ・環境経営レポートの作成、公開(地域事務局への送付)
EA21事務局	・環境管理責任者を補佐する ・文書及び記録類の作成・維持・集計・管理を行う ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
EA21委員会	・月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を確認する
部門長	・環境経営方針、自部門の環境目標、環境経営計画を部門全員に周知する ・環境経営目標達成のため、責任をもって自部門の環境経営を推進する ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・自部門に関連する法規制等を順守する ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加する

環境経営方針

＜経営理念＞

「誠実」 「迅速」 「社会貢献」

株式会社赤尾組は、事業活動が地球環境、地域環境と深く関連していることを認識し、
全社員がそれぞれの持ち場において、環境保全に幅広く積極的に取り組むことを推進する。

1. 事業活動に伴う環境への負荷の削減、地域貢献活動の推進のため、次の事項に取り組む

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - ・車両燃料、電力の使用量の削減
- (2) 廃棄物排出量の削減
 - ・建設リサイクル率の向上
 - ・一般廃棄物の削減
- (3) 水使用量の削減
 - ・節水の徹底
- (4) グリーン購入の推進
 - ・再生材の採用
 - ・地産地消、現地調達
- (5) 環境に配慮した施工の実施
 - ・作業事故防止、手もどり防止等
- (6) 社会貢献活動
 - ・地域清掃活動の実施

2. 事業に関わる環境関連法規やその他の要求事項を遵守する

3. 環境活動レポートを作成し、公表する

4. 全社員に環境経営方針を周知し、環境負荷の削減に対する意識向上に務め、 継続的改善を行う

制定日：2013年 8月 1日

改定日：2023年 4月 1日

株式会社 赤尾組

代表取締役社長 佐藤 直美

5. 環境経営目標

環境経営目標		単位	2019年度 (2019.3～2020.2) (基準年)	2021年度 (2021.3～2022.2)	2022年度 (2022.3～2023.2)	2023年度 (2023.3～2024.2)
二酸化炭素排出量 の削減 ※1		kg－CO2	基準年 160,078	基準年の2%削減 156,877	基準年の3%削減 155,276	基準年の4%削減 153,675
	電気使用量 事務所 作業所共	kWh	178,757	175,182	173,394	171,607
	ガソリン使用量 (作業所含む)	L	20,659	20,246	20,039	19,833
	軽油使用量 (作業所含む)	L	17,722	17,368	17,190	17,013
	都市ガス	m ³	50.0	49.0	48.5	48.0
廃棄物の削減	産業廃棄物	kg	190,000	186,200	184,300	182,400
	コンクリート魂・ アス・コン魂 リサイクル率の向上	%	100	100	100	100
	一般廃棄物排出量の削減	L	2.233	2.188	2.166	2.144
水使用量の削減 事務所 作業所共		m ³	1,929	1,890	1871	1852
グリーン購入推進 作業所再生材・地産品採用		—	再生材利用 地産品採用	再生材利用 地産品採用	再生材利用 地産品採用	再生材利用 地産品採用
環境配慮 施工	事故件数削減	—	0件	0件	0件	0件
社会貢献 活動	地域清掃活動の実施	—	本社・現場 毎月1回 (24回)	本社・現場 毎月1回 (24回)	本社・現場 毎月1回 (24回)	本社24回 現場12回

* 二酸化炭素排出量における購入電力の排出係数は、0.371Kg-CO₂/KWhを使用する。(九電平2019年度実排出係数)

※1 2019年実績の数値を基に目標値の設定を行った

5. 環境経営目標

環境経営目標		単位	2023年度 (2023.3～2024.2) (基準年)	2024年度 (2024.3～2025.2)	2025年度 (2025.3～2026.2)	2026年度 (2026.3～2027.2)
二酸化炭素排出量 の削減 ※1		kg－ CO2	基準年 147,428	基準年の1%削減 145,954	基準年の2%削減 144,480	基準年の3%削減 143,005
	電気使用量 事務所 作業所共	kWh				
	ガソリン使用量 (作業所含む)	L	22,150	21,929	21,707	21,486
	軽油使用量 (作業所含む)	L	14,018	13,878	13,738	13,597
	都市ガス	m ³	49.0	48.5	48.0	47.5
廃棄物 の削減	産業廃棄物	kg	556,025	550,465	544,905	539,344
	コンクリート魂・ アス・コン魂 リサイクル率の向上	%	100	100	100	100
	一般廃棄物排出量の削減	L	2,074	2,053	2,033	2,012
水使用量の削減 事務所 作業所共		m ³	1,334	1,321	1307	1294
グリーン購入推進 作業所再生材・地産品採用		—	再生材利用 地産品採用	再生材利用 地産品採用	再生材利用 地産品採用	再生材利用 地産品採用
環境 配慮 施工	事故削減	—	0件	0件	0件	0件
社会 貢献 活動	地域清掃活動の実施	—	本社24回 現場12回	本社24回 現場12回	本社24回 現場12回	本社24回 現場12回

* 二酸化炭素排出量における購入電力の排出係数は、0.435Kg-CO₂/KWhを使用する。(九電2022年度実排出係数)

※1 2023年実績の数値を基に目標値の設定を行った。

6. 環境経営計画

(1) 二酸化炭素排出量の削減

取組項目	責任者	活動項目	活動時期
電気使用量の削減	総務部 部長	・空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)	7-9月/11-3月
		・消灯の励行	通年
		・OA機器の電源をこまめに切る	通年
		・コピー機使用後のリセット	通年
		・待機電力の節約	通年
軽油、ガソリン使用量の削減	建築事業 部長 型枠事業 部長	・アイドリングストップ	通年
		・エコドライブの推進	通年
		・車両点検整備の励行	通年
		・ハイブリット車の採用	通年
		・	

(2) 建設廃棄物のリサイクル率の向上

取組項目	責任者	活動項目	活動時期
建設廃棄物のリサイクル率の向上 (%)	建築事業 部長 型枠事業 部長	・分別の徹底・確認	通年
		・リサイクル処理業者の選定	通年
		・建設産業廃棄物管理票の管理を確実にを行う	通年
		・	

(3) 一般廃棄物の削減

取組項目	責任者	活動項目	活動時期
一般廃棄物排出量の削減	総務部 部長	・不要な印刷物の削減	通年
		・裏紙の使用、両面印刷、両面コピーの徹底	通年
		・詰め替え可能な製品の購入	通年
		・ゴミの分別・リサイクルの推進	通年

(4) 水使用量の削減

取組項目	責任者	活動項目	活動時期
水使用量の削減	担当 部長	・節水シールの貼り付け	通年
		・社用車洗車時の節水	通年
		・地下水、処理水の利用	通年

(5) グリーン購入

取組項目	責任者	活動項目	活動時期
事務用品等のグリーン購入品目の増加 作業所 グリーン購入	総務部 部長	・環境ラベル認定製品の購入	通年
		・再生材採用	通年
		・地産品調達	通年
		・	

(6) 環境配慮施工

取組項目	責任者	活動項目	活動時期
事故・手もどりの削減	建築事業 部長 型枠事業 部長	・作業前のミーティング・打ち合せの徹底	通年
		・危険予知活動	通年
		・整理整頓	通年
		・安全パトロールの実施	通年

(7) 社会貢献活動

取組項目	責任者	活動項目	活動時期
地域清掃活動の実施	担当 部長	・会社周辺の清掃活動	通年
		・現場周辺の清掃活動	通年
		・	

7. 環境目標実績及び活動計画の取組結果と評価

7.1 環境目標実績

環境目標		単位	2019年度 (2019.3～2020.2) (基準年)	2023年度 (2023.3～2024.2) (目標)	2023年度 (2023.3～2024.2) (実績)	目標達成 の判定
二酸化炭素排出量 の削減		kg－ CO2	160,078	153,675	134,340	○
	電気使用量 事務所 作業所共 ※3	kWh	178,757	171,607	125,820	○
	ガソリン使用量 ※1	L	20,659	19,833	22,150	×
	軽油使用量	L	17,722	17,013	14,018	○
	都市ガス ※2	m ³	50.0	48.0	49.0	×
廃棄物 の削減	産業廃棄物 ※1	kg	190,000	182,400	556,025	×
	コンクリート魂・ アス・コン魂 リサイクル率の向上	%	100.0	100.0	100.0	○
	一般廃棄物排出量の 削減	kg	2,233	2,144	2,074	○
水使用量の削減 事務所 作業所共 ※1		m ³	1,929	1,852	1,334	○
グリーン購入推進		—	再生材利用 地産品採用	再生材利用 地産品採用	再生材利用 地産品採用	○
環境 配慮 施工	事故削減	—	0件	0件	1件	×
社会 貢献 活動	地域清掃活動の 実施	—	本社・現場 毎月1回	本社・現場 毎月1回 (24回)	本社24回 現場12回	○

※1 作業所の数も増え(大規模改修工事含む)、遠方の作業所が増えた為数値が上がっている

※2 作業所地内に現場事務所用地がなく近隣共同住宅内に事務所を設置した為

※3 上記状況の中電気の使用量は達成、節電に対する気配りができたものと思われる

7. 環境目標実績及び活動計画の取組結果と評価

7. 2 環境活動計画の取組結果と評価

取組項目		活動計画の内容	取組結果	評価と課題
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)	○	空調温度設定について徹底が必要。
		消灯の励行	○	温度管理については継続 機器変更検討
		OA機器の電源をこまめに切る	○	照明及び待機電力等節電 の努力が更に必要。
		コピー機使用後のリセット	○	加工センター等不要照明消灯
				LED照明に切り替え
	燃料油使用量の削減 (軽油、ガソリン)	アイドリングストップ	○	ガソリンの目標に未達
		エコドライブの推進	○	作業所の数も増え 遠方の作業所の為通勤距離増
		車輛点検整備の励行	○	軽油の使用量は目標達成。 意識の継続を行い今後も環境 配慮に努めること
建設廃棄物のリサイクル率の 向上	分別の徹底・確認	○	コンクリート魂とアス・コン魂 は、リサイクル処理している	
	リサイクル処理業者の選定	○		
	建設産業廃棄物管理票の管理を確実に行う	○		
一般廃棄物の削減	・詰め替え可能な製品の利用や購入	○	一般廃棄物の処理について 今後書類の分別を行い細断の 上、リサイクル処理等、減容を継続	
	・簡易包装商品の購入	○		
	・コピー機トナーカートリッジのリサイクル	○		
	・機器類は可能な限り修理して長期使用する	○		
水使用量の削減	節水シールの貼り付け	○	意識の徹底を行い年間を通し 目標達成に努めること 作業所の節水の呼びかけ実施	
	社用車洗車時の節水	○		
	節水の認識の定着	○		
グリーン購入推進	現場再生材の利用	○	工事での再生材の利用及び 、地産品の利用は出来て いる。	
	地産地消・現地調達	○		
環境配慮施工	作業前のミーティング・打ち合せの徹底	○	事故(挟まれ) ミーティング、KY活動等での 危険予知の周知。 見える化、ポスター等活用継続	
	危険予知活動(KYミーティング)	○		
	安全パトロールの実施	○		
社会貢献活動	会社周辺の清掃活動	○	会社周辺の清掃活動はほぼ実 施でき、習慣化ができています。 実施の継続	
	現場周辺の清掃活動	○		

8. 次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

取組項目	活動項目	活動時期
電気使用量の削減	・空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)	7-9月/11-3月
	・消灯の励行	通年
	・OA機器の電源をこまめに切る	通年
	・コピー機使用後のリセット	通年
軽油、ガソリン使用量の削減	・アイドリングストップ	通年
	・エコドライブの推進	通年
	・車両点検整備の励行	通年
	・	
	・	

(2) 建設廃棄物のリサイクル率の向上

取組項目	活動項目	活動時期
建設廃棄物のリサイクル率の向上	・分別の徹底・確認	通年
	・リサイクル処理業者の選定	通年
	・建設産業廃棄物管理票の管理を確実にを行う	通年
	・	

(3) 一般廃棄物の削減

取組項目	活動項目	活動時期
一般廃棄物排出量の削減	・詰め替え可能な製品の利用や購入	通年
	・簡易包装商品の購入	通年
	・コピー機トナーカートリッジのリサイクル	通年
	・機器類は可能な限り修理して長期使用する	通年

(4) 水使用量の削減

取組項目	活動項目	活動時期
水使用量の削減	・節水シールの貼り付け	通年
	・社用車洗車時の節水	通年
	・節水に対する認識の徹底	通年

(5) グリーン購入

取組項目	活動項目	活動時期
作業所 グリーン購入 再生材の利用、地産地消実施		通年
	・再生材採用	通年
	・地産品調達	通年

(6) 環境配慮施工

取組項目	活動項目	活動時期
事故削減	・作業前のミーティング・打ち合わせの徹底	通年
	・危険予知活動	通年
	・整理整頓	通年
	・安全パトロールの実施	通年

(7) 社会貢献活動

取組項目	活動項目	活動時期
地域清掃活動の実施	・会社周辺の清掃活動	通年
	・現場周辺の清掃活動	通年

9. 環境関連法規等の順守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規等の順守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

関係法規		順守状況
廃棄物処理・リサイクル		
廃棄物処理法	産業廃棄物委託処理・マニフェスト交付義務	順守
リサイクル法	指定副産物	順守
建設リサイクル法	新築工事・解体工事	順守
大気汚染		
大気汚染防止法	特定粉じん等排出作業	順守
オフロード法	協力会社の持ち込み建設機械等	順守
建築基準法	内装仕上げ・換気設備及び、天井裏等の工事	順守
騒音・振動		
騒音規制法	特定建設作業・適用指定地域	順守
振動規制法	特定建設作業・適用指定地域	順守
悪臭防止法	悪臭発生の可能性がある作業	順守
その他関連法令		
消防法(危政令)	火気の使用(法9条)	順守
道路交通法	車輛の運転	順守
福岡県飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例		順守

10. 代表者による全体評価と見直し指示

1. 評価

- ・全社員が、一丸となってエコ活動を継続している。
品質を含む管理の継続を実施。
- ・空調等の電気使用量他、照明及び機器待機電力等エコ活動の意識の更なる効率化が必要
作業所での節電の意識の向上が、見られる
- ・無災害未達、安全に対する周知徹底及びポスター等による見える化の継続
交通災害無事故継続。
- ・整理整頓、作業所一斉清掃の実施。
- ・作業所周辺環境の美化活動の継続
- ・挟まれ事故が1件発生した、本人の不注意による。

2. 見直し指示

- ・安全パトロールの厳格化、安全の意識を持って行動する事。
指摘事項の早期手直し、指摘事項の内容の把握、復旧の確認及び評
- ・各自、継続して、環境意識の向上を図り、エコ活動を推進する事。
品質を含む管理の徹底。
- ・健康管理に気を付け、日々の生活環境を整える事。
ウイルス対策の継続。アルコールチェック記録の継続
- ・各自、引き続き整理整頓を行い、無駄を無くす事。
作業所での一斉清掃の実施及び継続。
- ・環境指針の実施 転倒災害防止・交通災害対策
安全環境指針の周知
- ・各自、無災害厳守。